

2 個別事業評価調書

団体名: 相楽郡笠置町南山城村中学校組合

事業名		笠置町南山城村中学校耐震実施設計事業					
事業の概要	<p>昭和50年に統合を目的に現校舎が建築され、笠置町内の本校1校と南山城村内の分校2校が1校に統合されました。その後30年が経過し、校舎等の老朽化が進むなか、生徒の安全確保の観点から校舎等の耐震診断を行った結果、耐震補強が必要と診断されました。</p> <p>その結果を踏まえ、耐震補強及び大規模改修を2カ年で計画し、平成19年度には校舎3棟の耐震補強事業、平成20年度には屋内体育館の耐震補強及び大規模改修事業を実施いたします。</p> <p>そして本事業は、平成20年度の屋内体育館の耐震補強及び大規模改修事業実施に向け、京都市市町村未来づくり交付金を活用し、業務委託により実施設計を行うものです。</p>						
	事業期間	平成19年度					
	総事業費	6,878千円	本年度事業費	6,878千円	交付金交付額	850千円	
事業評価	事業の必要性	生徒が安心して教育を受けるためには校舎及び屋内体育館の耐震補強が必要不可欠であり、また、当該中学校は南山城村地域防災計画の避難場所として記載されているため、災害時の拠点地としても実施が必要な事業としています。					
	事業の有効性						
	事業の効率性						
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		3 リーディング・モデル成果					
		4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果							
<p>6 その他の成果</p> <p>最近、各地で地震等の被害が大きくなり取り上げられるなか、耐震補強等を行うことで未然に被害を最小限に食い止めることで、生徒の安全を守り、不安を取り除くことができます。更に老朽化が進んだ建物についても、必要最小限の経費で校舎等の耐用年数を延ばすことができ、建物管理における経費の費用対効果が望めます。</p> <p>また、南山城村地域防災計画では避難場所として記されており、有事の災害等に備えることができます。</p>							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。